

令和7年度地域包括ケアシステム基礎研修業務委託企画提案のご質問に対する回答

No.	質問	回答
1	7選考方法・結果通知(1)において、評価項目及び審査基準をご教示ください。	評価項目及び審査基準は公表していないため、お示しできません。提案内容を総合的に審査します。
2	7選考方法・結果通知(1)において、審査員の構成(人数、属性等)をご教示ください。	選考過程の詳細は公表していないため、お示しできません。
3	2業務の目的において、県として同事業の課題と感じている点についてご教示ください。	地域包括ケアシステムの深化・推進においては、行政、包括、SC、専門職等の幅広い関係者が地域支援事業や介護予防・日常生活支援総合事業等の趣旨を理解して取組む必要があるため、本研修を通じて幅広い関係者に対する理解を促進するものです。
4	2業務の目的において、本事業のアウトカム指標は何でしょうか。	市町村職員等が地域包括ケアシステムの全体像を理解することによって、事業間の連動を意識した事業運営を実施するようになることです。
5	4(4)イ研修運営において、二つ目にある「開催案内の作成・送付」とは研修受講者を募集するチラシでしょうか。また、送付の対象となる場所や件数、送付方法に指定があればご教示ください。	開催案内とは、研修の講師やカリキュラムを記載した受講者募集チラシです。県から市町村あてに、開催案内(電子データ)を送付します。
6	4(4)イ研修運営において、上記ともやや重複しますが、申込の取りまとめは実施業務とありますが、周知(市町村への呼びかけ、チラシ配布等)業務は委託者と受託者どちらの担当業務になりますでしょうか。	県から市町村等あてに、開催案内(電子データ)を送付します。
7	4(4)イ研修運営において、周知を受託者が主に担当する場合、県にご協力いただける周知方法をご教示ください。	県から市町村等あてに、開催案内(電子データ)を送付します。
8	4(4)イ研修運営において、過去3か年程度の周知の実施方法をご教示ください。	本研修は令和6年度から開始した研修ですので、令和6年度の実績について回答いたします(No.8~10)。県から市町村等あてに開催案内(電子データ)を送付しました。
9	過去3か年の周知方法毎、サービス種別毎、市町村毎等の参加者の属性及びその数をご教示ください。	令和6年度の主な受講者は、市町村職員、地域包括支援センター職員、生活支援コーディネーターです。受託者には、令和6年度実績の詳細をお伝えします。
10	過去3か年の各研修の参加者数をご教示ください。	令和6年度は延べ573名(内訳:動画配信研修229名、オンライン研修172名、対面研修172名)です。
11	昨年度の本事業の仕様と変更になっている箇所があればご教示ください。	令和6年度の仕様書では、受講対象者の業務経験年数を「新任又は業務経験1~2年程度」としていましたが、令和7年度はより幅広く受講者を募るため削除しました。
12	4業務内容(3)時期・回数等において、1日目と2日目は全日、3日目は半日とありますが、全日は研修を8時間、半日は研修を4時間という認識でしょうか。それとも、主催者、受託者の準備片付け等を含めて考えるものでしょうか。	研修時間(準備片付け時間を除く)については、全日は6~8時間程度、半日は4時間程度を想定しています。
13	4業務内容(4)実施業務イ研修運営において、一つ目にある「研修動画の撮影」は1、2日目を動画で実施する場合、という解釈でよろしいでしょうか。	御認識のとおりです。